

あいつばんげ 議会だより

218号

令和7年8月25日発行
福島県会津坂下町議会



ばんげの「いい顔」みいつけた！

塔寺いばいの森百年委員会

関連ページ…P14

目次 - CONTENTS -

第2回(6月)定例会	2
一般質問(8人が登壇)	6
議会の動き	11
みんなのひろば・編集後記	14

古川町政に待った！

一般会計補正予算修正案提出

小中学校入学祝金の費用を

削除する修正案



小中学校入学祝金とは

町が小中学校に入学する児童生徒の健全な成長を願い、子育て世代を応援することを目的とし、保護者に対し、

・小学校入学祝金 3万円
・中学校入学祝金 7万円
(※入学準備に要する費用として算出)を支給しようとするものです。

令和7年度対象者

・小学校82名
・中学校101名
合計183名

支給総額 953万円

一般会計補正予算の一部として第2回定例会に議案として提出されました。

五十嵐一夫議員より、小中学校入学祝金について、次の提出理由から実施しない旨の修正をしたいとして、その費用を削除するための修正案が提出されました。

(提出理由)

- ・この度の町長の選挙公約にあったが、選挙のない時には保育料の負担増。令和4年度と5年度で600万円の負担増があった。選挙時は支給するのか。選挙目当てと理解し、実施時期と動機が不純である。
- ・長寿祝金には条例がある。入学祝金についても条例を制定して実施するのが妥当である。
- ・ふるさと納税から支出するならば、基金・特別会計を作り、明確に支給することが正当である。
- ・提案するには十分な検討・協議がなされていない。

問

物価高騰により若者世代が経済的に困っている中、緊急的なこのような措置は良い施策だと思う。条例制定に当たり、どのような項目を検討しているのか。また、趣旨についてはどう考えているか。

(高久敏明議員)

答

全体的な財源やどのような形で支給するか、金額等がじっくり検討されていない。議会と協議し一緒に考えたい。これが協働のまちづくりだと思う。

救済・支援は良いことだが、唐突に作られたので制度自体に欠陥がある。プロセスを踏んでやるのが議会である。

(五十嵐一夫議員)

第2回定例会

問

少子化の中で、子育て世代を応援したいという施策だと思うが、一方で高齢者はどうなのかという話がされている。そもそも子育て世代に対する施策と高齢者に対する施策は平等にできているのか、何が平等だと思っているのか、何を優先すべきだと思っているのか。

(小畑博司議員)

答

私が執行者であればきちんと答弁する。高齢者の長寿祝金と入学祝金は別物である。高齢者に対しては切り離してやるべきだと思う。

(五十嵐一夫議員)

修正案に対する討論

反対

子育て世代の生活は、物価高騰も続く中で苦しさを増している。行政ができることはできる限り早くやるべきである。したがって、「入学祝金」創設はすぐにも実現すべきであり、修正案には反対である。

(小畑博司議員)

採決の結果は

修正案に対する採決の結果は

賛成 2名

反対 10名

となり、反対多数で否決されました。(詳しい賛否は4ページをご覧ください)

なお、議案第41号一般会計補正予算(第2号)は賛成多数で可決されました。(詳しい賛否は4ページをご覧ください)



〈採決結果〉

町長に対する問責決議

記名投票により、
賛成 2票 反対10票
となり、反対多数で否決されました。
(詳しい賛否は4ページをご覧ください)

小畑監査委員に対する辞職勧告決議

無記名投票により、
賛成 2票 反対9票
となり、反対多数で否決されました。

古川町長問責決議
小畑監査委員辞職勧告決議も提出される

やうに！

五十嵐一夫議員より、6月1日執行の町長選挙において、町議会選出監査委員の小畑博司議員を古川候補の選挙対策本部長に就任させた(した)ことについて、五十嵐一夫議員の私見によると、古川町長に対しては、二元代表制における町と議会の関係をないがしろにするものであるとして政治責任を問い、小畑博司議員(議会選出監査委員)に対しては、監査委員は常に公正不変の態度を保持して監査しなければならず、二元代表制、議会の機能を失墜する行為であることから、監査委員辞職の勧告をする議案が提出されました。

補正予算

令和7年度一般会計補正予算ほか

(万円未満四捨五入)

令和7年度		補正額	補正後の額
一般会計		5億6,531万円	91億3,828万円
特別会計	国民健康保険	2,505万円	19億2,125万円
	介護保険	403万円	24億1,873万円
	後期高齢者医療	8万円	2億3,526万円
企業会計	水道(収益的支出)	223万円	4億7,894万円
	下水道(収益的支出)	11万円	3億9,847万円

校医等設置条例の一部を改正する条例

「内科医」を「小児科医又は内科医」に変更し、小児科医を校医として任命できるように条例の一部を改正するもの。

討論

一般会計補正予算に対する討論

賛成

近年の物価高騰、実質賃金のマイナスが続き、厳しい経済状態が続いている中、子育て世帯の支援の一環としての小中学校入学祝金に賛同する。今後とも子育て支援の拡充に取り組んでいただくことを切に願う。

佐藤宗太 議員

反対

小中学校入学祝金について、予算化がされていないものに対して補正というのはおかしいのでは。

計画性に欠けているし、創設ということであれば次年度入学生から対象でもいいのではないか。

また、長寿祝金と同様に条例化し、しっかりと議論を重ね、よりよい子育て支援に繋げるべきである。

喫緊の課題は、保護者を含めた「心の支援」であり、これこそが真の子育て支援である。

したがって、一般会計補正予算に反対である。

酒井育子 議員

私はこちら判断！

賛否の分かれた議案

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	高久敏明	五十嵐孝子	目黒克博	物江政博	横山智代	小畑博司	佐藤宗太	五十嵐正康	青木美貴子	五十嵐一夫	水野孝一	酒井育子	山口享	赤城大地
議案第41号 令和7年度会津坂下町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	×	○	○	○	欠	×	○	×	○	
令和7年度会津坂下町一般会計補正予算(第2号)に対する修正案	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	○	×	○	×	
発議第2号 古川庄平町長に対する問責決議	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	○	×	○	×	
発議第3号 小畑博司町議会選出監査委員に対する辞職勧告決議	無記名投票により 賛成2・反対9					退			欠					議長
請願第4号 はたらく女性への健康配慮を求める請願	×	○	×	×	○	○	×	×	欠	×	×	×	×	
請願第8号 「消費税5%への減税を求める意見書」の提出について	○	×	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	×	○	
請願第10号 国に対し「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」提出についての請願	×	○	×	×	○	○	×	×	欠	×	×	×	×	
発委第6号 消費税5%への減税を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	×	○	

上記以外の議案は賛成全員で可決しました。 ○：賛成 ×：反対 退：退席 議長は採決に加わりません。

第2回定例会

請願の結果

	件 名	請 願 者	紹介議員	結 果
第4号	はたらく女性への健康配慮を求める請願	会津の大地と健康を守る会 代表 千葉親子	小畑博司	不採択
第6号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出請願書	日本労働組合総連合会福島県連合会 両沼地区連合会 議 長 檜山洋明	小畑博司	継続審査
第7号	「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願書	福島県教職員組合 中央執行委員長 瀬戸禎子 福島県教職員組合両沼支部 支部長 星 和雄	横山智代	採択
第8号	「消費税5%への減税を求める意見書」の提出について	消費税廃止各界連絡会 事務局 服部 雅	小畑博司	採択
第9号	「インボイス制度廃止を求める意見書」の提出について			採択
第10号	国に対し「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」提出についての請願	新日本婦人の会会津坂下班 代表 保知 栄子	小畑博司	不採択
第11号	国に対し「女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書」提出についての請願			継続審査

討 論

請願第8号「消費税5%への減税を求める意見書」の提出について

賛成

消費税5%への減税は直接の物価高対策になり中小企業支援にもなる最も効果的な減税である。すべての商品・サービスが対象となる5%への減税は幅広く家計負担の軽減になる。

横山智代 議員

反対

この国の経済を立て直すには大胆な経済政策が必要である。よって、消費税は廃止するしかない。

五十嵐孝子 議員

請願第10号 国に対し「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」提出についての請願

賛成

夫婦同姓の強制がアイデンティティの喪失や経済的不利益をもたらしていることは明らかであり、憲法第24条第1項にある通り「夫婦が同等の権利を有する」のが基本。どの姓を選ぶかは自由でありその権利がある。

横山智代 議員

反対

導入すれば、子供の氏の安定性が侵される。戸籍制度が崩壊するなど社会秩序の保持にとって大変危惧される状況となる。本請願の採択によって地方の方々が困っているかのような誤ったメッセージを発信するべきではない。

高久敏明 議員